

第三回 虫の会(拡張版)

「ピン留め」と「退縮」で作る昆虫の鋭い構造

-カブトムシの角とクワガタムシの大顎を例に-

静岡大学 助教

講師：後藤 寛貴

5.18(土)

会場：JT生命誌研究館

13:30 第一部 話題提供 後藤 寛貴
『ピン留め』と『退縮』で作る昆虫の鋭い構造

参加無料・予約不要

14:30 第二部 虫談義
研究者による議論と意見交換

当日配信はこちら
brh.co.jp/event_lecture/detail/846

15:45 終了予定

カブトムシのツノ
クワガタの大顎 は、なぜこの形？

昆虫が好きである事だけが共通点の、様々な分野の研究者がJT生命誌研究館に集って虫談義を行います。虫好きな生物学者たちが、科学の現場でどのような会話や議論を繰り広げているのかをご覧ください。

この講演では、カブトムシやクワガタムシを用いた研究から、やがて脱ぎ捨てられる蛹の「殻」に、体を覆う上皮の一部が接着していることが明らかになってきたことをお話します。



アクセス

大阪府高槻市紫町1-1 JT生命誌研究館
JR京都線高槻駅より徒歩10分
阪急高槻市駅より徒歩18分
開館日時10:00-16:30 入館無料 月曜休館

